

教科・分野	週時間数	クラス	担当者	
音楽	2	ABC	大 谷	
目標	①音楽に親しみ、音や音楽の美しさを感じ取ること。 ②音色、リズム、メロディー、ハーモニーと音との関わり合い、形式、速度、強弱の働きを知ること。 ③合唱や器楽の演奏を通じて、音を表現する力をつけること。			
大切にしたいもの	関心・意欲・態度	感受や表現の工夫	表現の技能	鑑賞の能力
	音楽を聴いたり、演奏したりすることの楽しさ	歌詞の内容や曲のイメージ、合奏の響きを受け止める感受性	一人で演奏する役割を果たしながら、全体で合わせる力	曲の成り立ちについて理解し、楽曲を深く鑑賞する力

学期	考查	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
一学期	期末	<発声基本練習> 呼吸法の練習 <楽典の学習> 音符や休符の長さ、調性 <歌唱教材> 「夢の世界を」「夏の思い出」 「サンタルチア」 <鑑賞教材> 「アイダ」「フーガ ト短調」 <アルトリコーダー練習> 「虹の彼方に」「われは海の子」「カノン2」 「ラヴァースコンチェルト」「きらきら星」	<ul style="list-style-type: none"> 発声についての呼吸法を深め、響きのある歌い方を工夫します。 中学1年生で学んだ楽典をもう一度確かめて、さらに内容を進めます。 歌詞の内容や、強弱記号など、音の表情に注意しながら歌います。 日本の歌の美しさを味わい、言葉と旋律の関係を理解しながら表現を工夫します。 「オペラ音楽」について、知識を深めます。 「パイプオルガン」の音の鳴る仕組みやフーガの形式について学びバロック音楽の特徴をまとめます。 アルトリコーダーの基本的な運指を習得し、美しい音色を出す方法を身につけます。
二学期	期末	<校内音楽会への取り組み> 女声三部合唱 <鑑賞教材> 「交響曲5番ハ短調」	<ul style="list-style-type: none"> 女声合唱曲に取り組みます。 パートリーダーを中心に自主的に練習し、曲を発表できるように仕上げます。 オーケストラの楽器について学び、「ソナタ形式」や作曲者の生涯についても理解します。
三学期	期末	<歌唱教材> 「そこに風がいる」 「荒城の月」 <鑑賞教材> 歌舞伎と文楽の音楽 <箏曲実技実習> <アルトリコーダー練習> 「威風堂々」「木かげの思い出」 「ふるさと」「エーデルワイス」 「星の世界」	<ul style="list-style-type: none"> グループ合唱や独唱、リコーダーとのアンサンブルなどの体験を通して、曲に合った歌い方を身につけます。 日本音楽、和楽器について学び、日本音楽の歴史、楽器の音色、演奏方法について理解します。 ゲストティーチャーに、箏曲の演奏方法の基礎を教えてもらいます。 アルトリコーダーのレパートリーを増やします。
評価の方法		定期テスト、実技、授業態度、提出物で評価します。	
授業の形態		クラス単位の一斉授業、実技実習	
使用教科書		中学生の音楽2・3上、中学生の器楽「教育芸術社」	
使用副教材		音楽のキャンパス2「教育芸術社」	
用意するもの		教科書、アルトリコーダー、プリント、賛歌	
備考		特になし	